



山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》



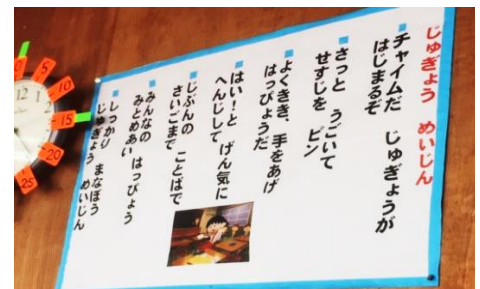
友達の子の鑑賞も大切な学習です。

令和2年12月18日(金) no.38 文責：上田

掲示物に目を向ける

学校では、教室や廊下などに様々な掲示がなされています。啓発ポスターや催し物案内、学習の記録、係活動の当番表、委員会からのお知らせ、図工で制作した作品展示などもあります。

以前訪れた学校で、教室の前面、黒板横の掲示板にたった1枚、「爪の切り方」が掲示された教室がありました。その教室の担任に尋ねると「自分で爪がきれることはこの学年の子どもたちには人として必要な技能だと考えている」と話されました。いつ頃から自分で爪が切れるようになればいいんだろう?と思いつつも、爪切りができるということは大切なことだなあと考えました。また、「廊下は歩こう」という掲示を見ることがあります。子どもへの注意がいろいろ貼られた学校もあります。「廊下を走らない」ではなく「廊下は歩こう」なんです。本来、正しい行動様式を獲得することが目的のはずで、「～はだめ・～しない」の否定形ではルールは身につかないものです。



低学年教室の「授業名人」と全校募集の「人権標語」の掲示

一つ一つの掲示物に注意を向けるといろいろと考えさせられることがあります。学校の掲示物には、子どもたちと一緒に作る掲示、子どもたちの中に当事者意識を生み、掲示物の内容が自分事となることが欠かせません。授業参観の際は、そんな視点でも教室掲示を見ていただければと思います。山西小の教室の前面に無駄な掲示物がないのも学習に集中できるようにと、ユニバーサル・デザインの視点での配慮です。

新型コロナウイルス感染症 厳戒警報に引き上げ

日中、村防災無線で次のような放送がされています。「・・・熊本県内は感染リスクレベル5厳戒警報レベルに引き上げられ、感染者が増加し・・・、また、感染経路不明及び家庭内感染も増加しています。村民の皆様には、外出する際のマスクの着用及び手指消毒の徹底と3つの密のある場所及び感染が流行している地域への移動を控え「新しい生活様式」を身に付け・・・家庭内での感染防止策を徹底し、自分や大切な人の命を守り感染予防に努めていただきますようお願いいたします。」 感染予防は、家庭はもちろん、地域でもみんなで取り組むべきものだと思います。